

# 販売実績が世界1位

## TGM

# ポツテロ切断機特別販売

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は6月30日までの期間限定で、イタリア・ポツテロ社製切断機の特別販売キャンペーンを実施する。ポツテロ社はガラス切断機を中心に、面取り機、NC変形加工機、合わせガラス製造ラインなどを製造している。年間の設備販売台数約1000台のうち切断機が半分の約500台を占め、切断機の販売で世界ナンバーワンを誇る。国内でも400台以上の設備の販売実績を持つ。国内での販売実績をさらに増やすため、キャンペーンを開始した。対象は、日本市場向けに製造を再開した単板ガラス切断機「353BKM-MINI」、シリーズ最高の生産性と省人化を実現した合わせガラス切断機「548LAM」など切断機全般。

欧米では150×100ミ(3810×2540ミ)が標準の素板サイズで、ポツテロ社は2014年から96×72ミ(2438×1829ミ)対応の単板ガラス切断機「353BKM-MINI」の製造を中止していた。一方、日本では強い要望があり、昨年からは「353BKM-MINI」の製造を再開した。「353BKM-MINI」の基本性能は従来の切断機と変わらないが、最大切断サイズが108×80ミ(2750×2032ミ)になった。対応ガラス板厚は2〜19

ミ、切断速度は150ミ/分、切断精度はプラスマイナス0.15ミ。標準機能は①異形切断②スキヤン機能③CAD機能④自動板圧調整機能。オプションでテーブル起倒機能もある。

将来は96×72ミ対応のLOWE膜除去が可能な切断機を投入する。

シリーズ最高の生産性と省人化

合わせガラス切断機「548LAM」は、ポツテロ社の製品ラインアップの中でもベストセラー機で、改良してシリーズ最高の生産性と省人化

を実現した。従来の合わせガラス切断機からの改善点は①革新的なヒートインクシステムの採用で、大幅な消費電力の削減、サイクルタイムの短縮が可能②新クラッピンシステムの採用で、ガラスへの均一かつスムーズな圧力分散が可能となり、ガラスへの過度なストレスの削減が可能③新自動回転システム(NC制御)の採用で、正確なガラスのポジショニング

ポツテロ社はガラス加工設備のワンストップサービスを目指し、切断機、面取り機、NC変形加工機だけでなく、合わせガラス製造設備、自動倉庫システムなど、さまざまな加工設備を提供する。労働力確保の問題から自動化、省人化が求められる。事務所などで作成した切断データをガントリーシステム、シャトルシステムといった自動倉庫装置に転送し、採板・切断までを自動でする加工設備を導入。合わせガラスの需要が増大したことから合わせガラス製造ラインの販売が堅調で、

同様に加工データを製造ラインに自動転送することで、現場作業を最小限にする合わせガラス製造ラインも提供する。

ガラス切断機のパイオニアとして①切断機にレーザーマーキング機能を装備し、切断とレーザーマーク打ちを同時に切断

工程で実現②切断機にラベル貼付機能を装備することで、切断とラベル貼りを切断工程で実現③切断ダブルブリッジの採用で切断効率が大幅に向上④合わせガラスの異形切断機能を開発―といった他社に先駆けた新しい技術を展開している。



「353BKM-MINI」(左)と「548LAM」